【給食調理場編】

このシートは、 2019 調査実施分 / 2018 ファシリティコスト分

No.	117

58,462 人

北広島市　公共施設カルテ

調査実施年度	平成31年度

施設名	学校給食センター

大分類	学校教育系施設	中分類	その他教育施設	施設番号	117

所管部課	学校給食センター

1　土地データ

所在地（地区）	朝日町5丁目1番地4 （ 東部 ）	敷地面積	5,808 ㎡
		うち借地面積	－ ㎡

2　建物データ

複合・併設施設	－			建築年度	昭和48 年度
建物構造	S	延床面積	917 ㎡	経過年数	46 年
階数（地上）	2 階	階数（地下）	－ 階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	302,610 千円	法定耐用年数	31 年	市民1人当たり更新コスト	5,176 円/人

3　管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態
	－ 人	－ 人	－ 人	－ 人	市直営

ファシリティコスト
平成30年度分
施設コスト

①施設維持コスト
建物を良好に保つために要する経費
＋
②施設運営コスト
公共サービスを提供するために要する経費

収入 内訳	金額（千円）
利用料等	162,864
国　費	－
道　費	－
その他	－
市費（一般財源）	－
合　計	**162,864**

支出 内訳		金額（千円）
①施設維持コスト	修繕料	1,170
	火災保険料	12
	維持管理委託料	4,745
	敷地借上料	－
	工事請負費	－
	その他維持費	－
	小　計	**5,927**
②施設運営コスト	人件費	2,088
	光熱水費	8,509
	運営委託料	83,311
	その他運営費	17,955
	小　計	**111,863**
合　計（①＋②）		**117,790**

コスト計算	平均利用者数1人当たり	市民1人当たり	延床面積1㎡当たり
単位コスト	－ 円/人	2,015 円/人	128,451 円/㎡

4　修繕履歴

実施年度	内容	工事費（千円）	実施年度	内容	工事費（千円）
H23	耐震補強及び施設改修	25,830			
H24	耐震補強及び施設改修	70,896			

5　特記事項

６　データ分析

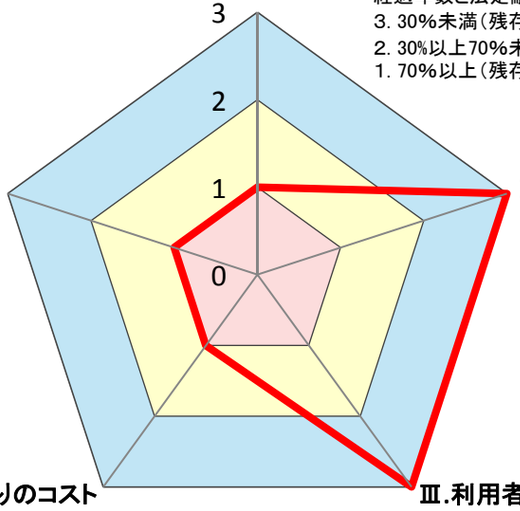
レーダーチャート

Ⅰ～Ⅲ：絶対評価

※評価できない場合は0

Ⅳ～Ⅴ：相対評価

施設間で相対的に比較



Ⅰ.老朽化状況

経過年数と法定耐用年数を比較
3. 30%未満（残存年数多）
2. 30%以上70%未満
1. 70%以上（残存年数少）

Ⅱ.耐震性能

耐震基準への適合性
3. 新耐震基準・耐震改修不要又は施工済
2. 耐震診断の実施の有無が不明
1. 耐震対策が必要又は耐震診断未実施

Ⅲ.利用者負担の割合

3. 100%以上（利用者負担で費用が賄える）
2. 30%以上100%未満
1. 30%未満（利用者負担の割合が低）

Ⅳ.市民1人当たりのコスト

3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト

3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

レーダチャートで示す５つの指標

Ⅰ.老朽化状況	**建物の老朽化を示す指標（%）** 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 （経過年数÷法定耐用年数） 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	148　（%）
Ⅱ.耐震性能	**建物の耐震安全性を示す** 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	耐震性能あり
Ⅲ.利用者負担の割合	**ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標** 利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は１、ファシリティコストが発生しない施設は３。	138　（%）
Ⅳ.市民1人当たりのコスト	市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。	2,015　（円/㎡）
Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト	延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	128,451　（円/㎡）

総　合　評　価	経過年数から老朽化が進んでいると判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。 利用者負担で費用が賄える（Ⅲ）。市民一人当たりのコストが大きい（Ⅳ）。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（Ⅴ）。

このシートは、	2019	調査実施分	No.	118
	2018	ファシリティコスト分		58,462 人

北広島市　公共施設カルテ

調査実施年度	平成31年度

施設名	広葉中学校給食調理場

大分類	学校教育系施設	中分類	その他教育施設	施設番号	118

所管部課	学校給食センター

1　土地データ

所在地（地区）	広葉町5丁目1番地	敷地面積	36,654 ㎡
	（　北広島団地　）	うち借地面積	－ ㎡

2　建物データ

複合・併設施設	－			建築年度	平成12 年度
建物構造	RC	延床面積	861 ㎡	経過年数	19 年
階数（地上）	2 階	階数（地下）	－ 階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	284,130 千円	法定耐用年数	41 年	市民1人当たり更新コスト	4,860 円/人

3　管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態
	－ 人	－ 人	－ 人	－ 人	市直営

ファシリティコスト
平成30年度分
施設コスト

①施設維持コスト
建物を良好に保つために要する経費
＋
②施設運営コスト
公共サービスを提供するために要する経費

収入 内訳	金額（千円）
利用料等	40,984
国　費	－
道　費	－
その他	－
市費（一般財源）	－
合　計	**40,984**

支出 内訳		金額（千円）
①施設維持コスト	修繕料	2,638
	火災保険料	13
	維持管理委託料	1,202
	敷地借上料	－
	工事請負費	－
	その他維持費	－
	小　計	**3,853**
②施設運営コスト	人件費	2,199
	光熱水費	13,965
	運営委託料	39,067
	その他運営費	4,437
	小　計	**59,668**
合　計（①＋②）		**63,521**

コスト計算	平均利用者数1人当たり	市民1人当たり	延床面積1㎡当たり
単位コスト	－ 円/人	1,087 円/人	73,776 円/㎡

4　修繕履歴

実施年度	内容	工事費（千円）	実施年度	内容	工事費（千円）
H30	広葉中学校給湯配管修繕	7,560			

5　特記事項

ファシリティコストは、西の里中学校給食調理場との延床面積により按分

６　データ分析

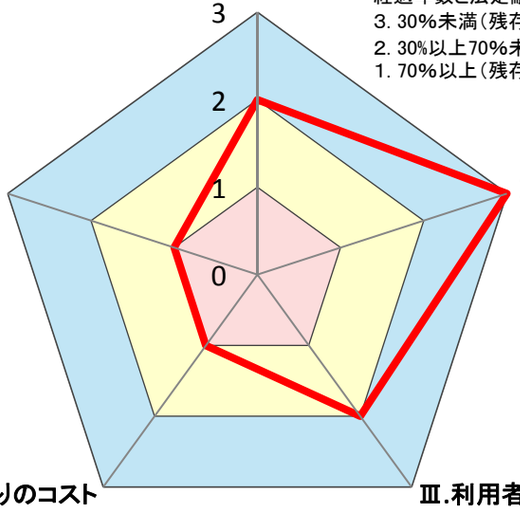
レーダーチャート

Ⅰ～Ⅲ：絶対評価

※評価できない場合は0

Ⅳ～Ⅴ：相対評価

施設間で相対的に比較



Ⅰ.老朽化状況

経過年数と法定耐用年数を比較
3. 30%未満（残存年数多）
2. 30%以上70%未満
1. 70%以上（残存年数少）

Ⅱ.耐震性能

耐震基準への適合性
3. 新耐震基準・耐震改修不要又は施工済
2. 耐震診断の実施の有無が不明
1. 耐震対策が必要又は耐震診断未実施

Ⅲ.利用者負担の割合

3. 100%以上（利用者負担で費用が賄える）
2. 30%以上100%未満
1. 30%未満（利用者負担の割合が低）

Ⅳ.市民1人当たりのコスト

3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト

3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

レーダチャートで示す５つの指標

Ⅰ.老朽化状況	**建物の老朽化を示す指標（%）** 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 （経過年数÷法定耐用年数） 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	46　（%）
Ⅱ.耐震性能	**建物の耐震安全性を示す** 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	耐震性能あり
Ⅲ.利用者負担の割合	**ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標** 利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は１、ファシリティコストが発生しない施設は３。	65　（%）
Ⅳ.市民1人当たりのコスト	市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。	1,087　（円/㎡）
Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト	延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	73,776　（円/㎡）

総　合　評　価	経過年数から対策の検討時期と判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。 利用者負担の割合は標準的（Ⅲ）。市民一人当たりのコストが大きい（Ⅳ）。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（Ⅴ）。

このシートは、 2019 調査実施分 / 2018 ファシリティコスト分

No. 119

58,462 人

北広島市　公共施設カルテ

調査実施年度：平成31年度

施設名	西の里中学校給食調理場

大分類	学校教育系施設	中分類	その他教育施設	施設番号	119

所管部課	学校給食センター

1　土地データ

所在地（地区）	西の里790番1 （ 西の里 ）	敷地面積	11,673 ㎡
		うち借地面積	－ ㎡

2　建物データ

複合・併設施設	－			建築年度	平成14 年度
建物構造	RC	延床面積	1,282 ㎡	経過年数	17 年
階数（地上）	2 階	階数（地下）	－ 階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	423,060 千円	法定耐用年数	41 年	市民1人当たり更新コスト	7,236 円/人

3　管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態
	－ 人	－ 人	－ 人	－ 人	市直営

ファシリティコスト　平成30年度分　施設コスト

①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費
＋
②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費

収入 内訳	金額（千円）
利用料等	64,214
国　費	－
道　費	－
その他	－
市費（一般財源）	－
合　計	**64,214**

支出 内訳		金額（千円）
①施設維持コスト	修繕料	1,362
	火災保険料	19
	維持管理委託料	2,716
	敷地借上料	－
	工事請負費	－
	その他維持費	－
	小　計	**4,097**
②施設運営コスト	人件費	2,331
	光熱水費	26,015
	運営委託料	61,210
	その他運営費	6,951
	小　計	**96,507**
合　計（①＋②）		**100,604**

コスト計算	平均利用者数1人当たり	市民1人当たり	延床面積1㎡当たり
単位コスト	－ 円/人	1,721 円/人	78,474 円/㎡

4　修繕履歴

実施年度	内容	工事費（千円）	実施年度	内容	工事費（千円）

5　特記事項

ファシリティコストは、広葉中学校給食調理場との延床面積により按分

６　データ分析

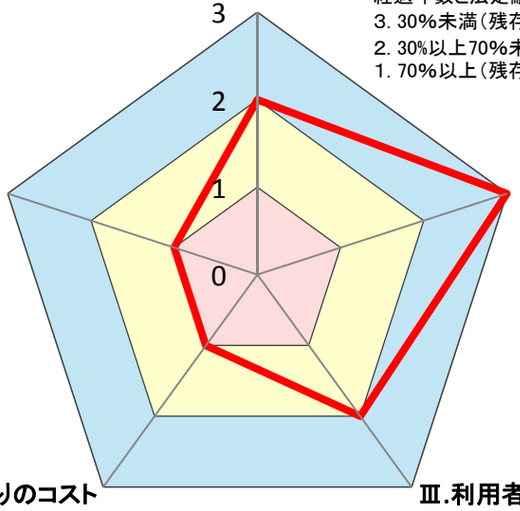
レーダーチャート

Ⅰ～Ⅲ：絶対評価

※評価できない場合は0

Ⅳ～Ⅴ：相対評価

施設間で相対的に比較



Ⅰ.老朽化状況

経過年数と法定耐用年数を比較
3. 30%未満（残存年数多）
2. 30%以上70%未満
1. 70%以上（残存年数少）

Ⅱ.耐震性能

耐震基準への適合性
3. 新耐震基準・耐震改修不要又は施工済
2. 耐震診断の実施の有無が不明
1. 耐震対策が必要又は耐震診断未実施

Ⅲ.利用者負担の割合

3. 100%以上（利用者負担で費用が賄える）
2. 30%以上100%未満
1. 30%未満（利用者負担の割合が低）

Ⅳ.市民1人当たりのコスト

3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト

3. 下位3割以内（コスト安）
2. 中位4割
1. 上位3割以内（コスト高）

レーダチャートで示す５つの指標

Ⅰ.老朽化状況	**建物の老朽化を示す指標（%）** 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 （経過年数÷法定耐用年数） 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	41　（%）
Ⅱ.耐震性能	**建物の耐震安全性を示す** 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	耐震性能あり
Ⅲ.利用者負担の割合	**ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標** 利用料等÷ファシリティコスト（施設維持管理コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。	64　（%）
Ⅳ.市民1人当たりのコスト	市民１人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。	1,721　（円/㎡）
Ⅴ.面積1㎡当たりのコスト	延床面積１㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	78,474　（円/㎡）

総　合　評　価	経過年数から対策の検討時期と判断（Ⅰ）。耐震性能を有している（Ⅱ）。 利用者負担の割合は標準的（Ⅲ）。市民一人当たりのコストが大きい（Ⅳ）。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（Ⅴ）。